

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	名古屋大学	整理番号	G - 4
拠点のプログラム名称	太陽・地球・生命圏相互作用系の変動学		
中核となる専攻等名	環境学研究科地球環境科学専攻		
事業推進担当者	(リダ-)安成 哲三 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>現在は地球大変動の時期である。本拠点では、地球システムを非線形に変動する太陽・地球・生命圏相互作用系として把握し、過去の大変動の高精度復元、過去数十年から現在に至るエネルギー・水・物質循環の素過程・機構解明、およびマルチタイムスケールの統合地球システムモデルを通じた10～1000年オーダーの変動の機構解明と予測を行う。同時に、この作用系の一部としての人類の存在意義と役割を考察する「新たな地球学」の構築をめざす。そのため、関連する研究所・研究センターを再編・統合し、太陽地球生命圏システム研究所（仮称）を創設して、専門教育に立脚する環境学研究科地球環境科学専攻等と連携して、活力ある国際研究教育拠点の形成する。若手研究者・大学院生の自由な発想を効率良く伸ばすための横断研究プログラムの創設や、ユネスコの特別研修コース等を継承・発展した留学生プログラム、海外フィールド実習・国際スクールの実施などで「新たな地球観」を持つ次世代の国際的地球科学者を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>太陽エネルギー、水、物質循環に焦点を絞り、過去約1000万年間の生命圏を含む地球表層圏の変動を総合的に解明しようとするユニークな構想である。これまでの本計画に関連する分野における研究教育実績も高く、また参加研究者の意欲も高いと判断され、国際的拠点としての成果が期待できる。</p>			